

# 新潟大学研究推進機構超域学術院主催 国際若手研究者シンポジウム

## 2014.1/11[土]・12[日]

**11日** 追手門学院大学 梅田サテライト  
会場 (阪急梅田駅直結 阪急ターミナルビル16階)

### セッション1 09:30~11:15 「移民の排除と包摂」

【報告者】木村貴 (九州国際大学法学部准教授) / 李在承 (建国大学法学専門大学院教授) /  
鈴木真弥 (中央大学総合政策学部兼任講師) / Victoria Kupchin (北海道大学教育学研究科博士課程)  
【司会】池直美 (北海道大学公共政策大学院講師)  
【コメンテーター】趙慶喜 (聖公会大学東アジア研究所教授) /  
森下嘉之 (北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会 PD)

### セッション2 11:25~13:10 「マイノリティが映し出す社会、産業、労働」

【報告者】韓載香 (北海道大学経済学研究科准教授) / 高橋美野梨 (北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会 PD) /  
宮本万里 (国立民族学博物館研究員) / 李定垠 (聖公会大学東アジア研究所教授)  
【司会】左近幸村 (新潟大学研究推進機構超域学術院准教授) 【コメンテーター】榎一江 (法政大学大原社会問題研究所准教授)

### セッション3 14:10~16:20 「帝国日本の跨境的世界」

【報告者】根川幸男 (ブラジリア大学文学部准教授) / 中村綾乃 (お茶ノ水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター研究員) /  
横畑由希子 (ルーヴァン大学文学部日文学科博士課程) / 高本康子 (北海道大学スラブ研究センター共同研究員) /  
韓恵仁 (成均館大学東アジア歴史研究所兼任研究員)  
【司会】左近幸村 (新潟大学研究推進機構超域学術院准教授)  
【コメンテーター】中山大将 (北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会 PD)

### セッション4 16:30~18:00 「モバイルな時代における移動」

【報告者】土肥勲嗣 (九州大学大学院法学研究院専門研究員) / 辛嶋博善 (北海道大学スラブ研究センター非常勤研究員) /  
Edward Boyle (北海道大学法学研究科博士課程)  
【司会・コメンテーター】池直美 (北海道大学公共政策大学院講師)

**12日** 阪急ターミナルスクエア・17「ぎつき」の間  
会場 (阪急梅田駅直結 阪急ターミナルビル17階)

### セッション5 09:00~10:30 「ナチズムと移動知識人」グループ①

【報告者】斎藤祥平 (北海道大学文学研究科博士課程・日本学術振興会 DC) /  
白川俊介 (九州龍谷短期大学) / 栗林大 (中央大学社会科学研究所客員研究員)  
【司会】赤尾光春 (大阪大学文学研究科助教) 【討論者】鶴見太郎 (ニューヨーク大学・日本学術振興会海外特別研究員)

### セッション6 10:40~12:10 「ナチズムと移動知識人」グループ②

【報告者】秋元由裕 (北海道大学文学研究科博士課程・日本学術振興会 DC) /  
岩熊典乃 (大阪市立大学経済学研究科博士課程) / 恒木健太郎 (専修大学・日本学術振興会 PD)  
【司会】斎藤祥平 (北海道大学文学研究科博士課程・日本学術振興会 DC)  
【討論者】鶴見太郎 (ニューヨーク大学・日本学術振興会海外特別研究員)

### セッション7 13:40~15:25 「文学・文化の越境と遭遇」

【報告者】車承祺 (聖公会大学東アジア研究所教授) / 井上岳彦 (北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会 PD) /  
小松久恵 (追手門学院大学講師) / 金艾琳 (延世大学国学院教授)  
【司会】安達大輔 (首都大学東京非常勤講師) 【コメンテーター】恒木健太郎 (専修大学・日本学術振興会 PD)

### セッション8 15:35~17:10 「芸術の動態」

【報告者】安達大輔 (首都大学東京非常勤講師) / 生熊源一 (北海道大学文学研究科修士課程) /  
本田晃子 (北海道大学スラブ研究センター非常勤研究員) / 栗田知宏 (東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)  
【司会】小松久恵 (追手門学院大学講師) 【討論者】大平陽一 (天理大学地域文化研究センター教授)

### 17:30~19:30 《総合討論》

【司会】左近幸村 (新潟大学研究推進機構超域学術院准教授)

グローバル化する世界と移動する人々。  
超域的アプローチによる比較研究

使用言語：日本語（一部英語）  
参加自由 申込不要

【共催】北海道大学公共政策大学院

【問い合わせ】左近 幸村 sakon@econ.niigata-u.ac.jp

池 炫周 直美 n\_chi@hops.hokudai.ac.jp



## 国際若手研究者シンポジウム

### 「グローバル化する世界と移動する人々：超域的アプローチによる比較研究」

主催：新潟大学研究推進機構超域学術院 共催：北海道大学公共政策大学院

日時：2014年1月11日～12日

## プログラム

【11日】会場：追手門学院大学・梅田サテライト（阪急ターミナルビル16F）

9：30－11：15「移民の排除と包摂」

○木村貴（九州国際大学法学部准教授）「保護されない『国民』：南北分断のなかの在日韓国人」

○李在承（建国大学法学専門大学院教授）“Right of Movement of Zainichi Koreans”

○鈴木真弥（中央大学総合政策学部兼任講師）「ダリト（不可触民）運動のグローバル化にみるカーストの動態：英国の事例から」

○Victoria Kupchin（北海道大学教育学研究科博士課程）“In Search of Myself: The Case of Japanese Brazilian Children in Japan”

□司会 池直美（北海道大学公共政策大学院専任講師）

□コメンテーター 趙慶喜（聖公会大学東アジア研究所教授）、森下嘉之（北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会PD）

11：25－13：10「マイノリティが写し出す社会、産業、労働」

○韓載香（北海道大学経済学研究科准教授）「在日韓国人・朝鮮人のビジネスの成長とその基盤」

○高橋美野梨（北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会PD）「資源開発と自治：デンマーク領グリーンランドにおけるビッグスケール法と外国人労働者」

○宮本万里（国立民族学博物館研究員）「ブータンの屠殺と仏教」

○李定垠（聖公会大学東アジア研究所教授）「韓国の朝鮮族の労働と地位分化」

□司会 左近幸村（新潟大学研究推進機構超域学術院准教授）

□コメンテーター 榎一江（法政大学大原社会問題研究所准教授）

13：10－14：10 ランチ

14：25－16：30「帝国日本の跨境的世界」

○根川幸男（ブラジリア大学文学部准教授）「帝国日本の『飛び地』としての戦前期ブラジル日系社会」

○中村綾乃（お茶の水女子大学 リーダーシップ養成教育研究センター研究員）「第二次世界大戦期の東アジア在留ドイツ人社会」

○横畑由希子（ルーヴアン大学文学部日本学科博士課程）「満州国を通過したユダヤ人と関東軍」

○高本康子（北海道大学スラブ研究センター共同研究員）「昭和期日本と『ラマ教』：日本・満州間の宗教人材交流」

○韓恵仁（成均館大学東アジア歴史研究所兼任研究員）「境界を超える女性たち：植民地朝鮮における女性の移動」

□司会 左近幸村

□コメンテーター 中山大将（北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会 PD）

16：30－18：00「モバイルな時代における移動」

○土肥勲嗣（九州大学大学院法学研究院専門研究員）「対馬における日韓交流：ナショナルリズムの高揚の狭間で」

○辛嶋博善（北海道大学スラブ研究センター非常勤研究員）「定住地への移住と牧畜社会の維持：モンゴル国ヘンティール県ムルン郡の事例」

○Edward Boyle（北海道大学法学研究科博士課程）“‘Borderization’ in Georgia: From inside to out”

□司会・コメンテーター 池直美

【レセプション】18:30－21:30 阪急ターミナル・スクエア 17「さつき」

【12日】阪急ターミナル・スクエア 17「さつき」（阪急ターミナルビル 17F）

9：00－10：30「ナチズムと移動知識人」グループ①

○斎藤祥平（北海道大学文学研究科博士課程・日本学術振興会 DC）「1930年代トルベツコイの人種主義批判と国際感覚の変化」

○白川俊介（九州龍谷短期大学非常勤講師）「ハンナ・アーレントのコスモポリタニズムをどのように解釈するか：人権・国家・人の移動」

○栗林大（中央大学社会科学研究所客員研究員）「『他者と共に希望を持つ』ために：ガッサン・ハージによるオーストラリア多文化主義への批判から」

□司会 赤尾光春（大阪大学文学研究科助教）

□討論者 鶴見太郎（ニューヨーク大学・日本学術振興会海外特別研究員）

10：40－12：10「ナチズムと移動知識人」グループ②

○秋元由裕（北海道大学文学研究科博士課程・日本学術振興会 DC）「強制された和解、あるいはパルチザン：三十年代のルカーチとソ連邦」

○岩熊典乃（大阪市立大学経済学研究科博士課程）「ホルクハイマー・アドルノにおける〈自然支配〉原理の考察と反ユダヤ主義分析」

○恒木健太郎（専修大学・日本学術振興会 PD）「ルターはナチスの先駆者か？：Th.マン/S.ツヴァイク/E.フロムの比較から」

□司会 斎藤祥平

□討論者 鶴見太郎

12：10－13：40 ランチ

13：40－15：25 「文学・文化の越境と遭遇」

○車承棋（聖公会大学東アジア研究所教授）「不安な遭遇：植民地/帝国時代の興南-水俣の移住労働者たち」

○井上岳彦（北海道大学スラブ研究センター・日本学術振興会 PD）「移動からみる仏教文化の継承：ロシアとアメリカの僧」

○小松久恵（追手門学院大学講師）「『ブリティッシュ・ムスリム』とは誰か？：現代英国南アジア系文学にみる帰属意識の変容」

○金艾琳（延世大学国学研究院教授）「ポストコロニアル期における複雑な越境的恋愛についての考察」

□司会 安達大輔（首都大学東京非常勤講師）

□討論者 恒木健太郎

15：35－17：10 「芸術の動態」

○安達大輔（首都大学東京非常勤講師）「喪失としての保存：初期写真、ロマン主義文学そしてゴーゴリにおける移ろいゆくものの痕跡」

○生熊源一（北海道大学文学研究科修士課程）「芸術の心象地理：『集団行為』における外国のイメージ」

○本田晃子（スラブ研究センター非常勤研究員）「都市は運動する：映画『新モスクワ』のなかのモスクワ」

○栗田知宏（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）「ブリティッシュ・エイジアン音楽業界におけるパンジャービー優位の構図をめぐる考察」

□司会 小松久恵

□討論者 大平陽一（天理大学教授地域文化研究センター教授）

17：30－19：30 総合討論